

2022 年 8 月 26 日

関東ラグビーフットボール協会  
理事長 大原 俊一 様  
関西ラグビーフットボール協会  
理事長 松原 忠利 様  
九州ラグビーフットボール協会  
理事長 御領園 昭彦 様

(公財)日本ラグビーフットボール協会  
専務理事 岩淵 健輔  
メディカル委員長 中村 明彦  
安全対策委員長 齋藤 守弘

## 脳振盪からの「段階的競技復帰 (GRTP)」改訂について(通達) 【安全対策】

平素は日本ラグビーの普及発展につきまして多大なるご尽力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、2022 年 6 月 21 日 (火) にワールドラグビー (WR) より発表された「エリートゲームにおける脳損傷からの競技復帰 (GRTP) への新たなアプローチ」(URL: <https://onl.bz/tSA tqPi>) を、日本ラグビーフットボール協会としてもエリートレベルで導入し、コミュニティレベルもこれに準じた新しい GRTP プロトコルを導入することとしました。具体的な対応内容につき、以下の 1~3 に記載いたします。今回の通達が脳振盪のリスクの重大性が広く認識されてきたことを背景とした改訂であることをご理解いただき、安全なラグビーの実現にご協力ください。

1. HIA が適用されるエリートラグビー (セブンズを含めた、男女の区別なく全ての HIA 対象試合)  
WR は、エリートラグビーのゲームにおいて、脳振盪の既往\*がある選手と HIA3 で陽性 (脳振盪の症状がある) 選手は、「最低 12 日間は休養しなければならない」と決めました。脳振盪の既往のある選手の競技復帰には ICC (Independent concussion consultant) の承認が必要となります。  
脳振盪の既往が無く、HIA3 で陰性の選手は、ICC の承認が得られれば、受傷後 7 日目での試合復帰が可能とされます。なお、練習や練習試合での脳振盪は、HIA 対象外となるため、1 週間のレストと 1 週間の GRTP で復帰まで最短 14 日で復帰可能とします。(その際の手順は、次項に準じてください。)

\* : 脳振盪の既往とは、以下 6 項目に当てはまる場合

1. 脳振盪の受傷が過去 3 ヶ月以内にあった
2. 脳振盪の受傷が過去 1 年間で 3 回以上あった
3. 脳振盪の受傷がラグビー競技を始めてから 5 回以上あった
4. 衝撃によって脳振盪の発症閾値が低下した (医師の指摘による)
5. 脳振盪を起こし、心理的な問題を合併した
6. 過去に脳振盪を起こし、回復に時間がかかった (21 日以上)

2. 高校生・高専生を除く 18 歳以上のコミュニティレベル（大学/社会人/クラブチームなど）

高校生・高専生を除く 18 歳以上のコミュニティレベルのプレーヤーは、プレーヤーウェルフェアを最優先としたメディカル体制を有するチームの管理のもとに、脳振盪の既往のない選手に限り、一定の項目＊を満たせば1 週間のレストと 1 週間の GRTP の最短 14 日で復帰可能ですが、それ以外の選手は 2 週間のレストと 1 週間の GRTP で最低 21 日後の復帰となります。

＊：一定の項目とは、以下 3 項目に当てはまる場合

1. 脳振盪の既往歴のない選手
2. チーム内で SCAT 5 のベースラインデータがあること
3. 脳振盪受傷後 36-48 時間後に SCAT 5 を実施し、ベースラインデータより悪化がないこと

3. 高校・高専および中学生以下のカテゴリー

高校生・高専生は最短 3 週間後、中学生以下は最短 23 日後の復帰となり、従来通りの運用となります。これらのカテゴリーでも SCAT5 の利用を推奨しております。（5-12 歳では Child SCAT5）

GRTP 改訂については以上となります。貴協会におかれましては、加盟都道府県協会、加盟チームに周知徹底をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

■通達対象：三支部協会、各都道府県協会、登録チーム

■文書作成：日本ラグビーフットボール協会 メディカル委員会、安全対策委員会

■本件についてのお問い合わせ先：

公財) 日本ラグビーフットボール協会

安全対策委員会 委員長 齋藤 守弘 ([m.saito@rugby-japan.or.jp](mailto:m.saito@rugby-japan.or.jp))

事務局 塚崎 有 ([yu.tsukasaki@rugby-japan.or.jp](mailto:yu.tsukasaki@rugby-japan.or.jp))

以上

添付資料 「段階的競技復帰（GRTP）」改訂に関する資料一式

- ・ 「段階的競技復帰（GRTP）変更への対応について」
- ・ 補足資料) 最短 2 週間で復帰する場合の留意点
- ・ SCAT5(日本語版)
- ・ (書式) 2 週間-段階的競技復帰のための証明書
- ・ (書式) 3 週間-段階的競技復帰のための証明書
- ・ (書式) 段階的競技復帰のための証明書【競技者が高校生・高専生の場合】
- ・ (書式) 段階的競技復帰のための証明書【競技者が中学生以下の場合】

なお、以下の書式については、後日の発行とする。

- ・ (書式) 7 日間-段階的競技復帰のための証明書
- ・ (書式) 12 日間-段階的競技復帰のための証明書